

R7年度復職支援実技研修 報告

【認知症の方との向き合い方】

日 時: R7年8月1日(金) 10:00~12:00

場 所: 秋田アトリオン 3 階研修室 A・B

講 師: 認知症看護認定看護師 岩本 恵利子 氏

参加者: 8 名

感想



- 認知症は普段からよく耳にしても、接し方など知らないことが多く、深く学ぶことが出た。ユマニチュードが現在どのくらい周知されているのか気になります。認知症だけでなく、他のケアにも参考にしたい内容です。

- 認知症看護の最新を学ぶことができた。一人の人間として尊重して接することが大切だと思った。ユマニチュードは認知症の方以外にも使えると思った。すぐく勉強になった。

- 高齢者の方が必然的に多くなる秋田で、認知症の方と向き合う事も多くなってくると思います、少しでも認知症の方が安心して生活していく事、看護職の方がストレスを軽減してケアに入ることができるかをこの研修を通して考えることが出来ました。

- 認知症の方との向き合い方というところで実際に活かすことのできる内容であり、ユマニチュードについての動画もとても勉強になる内容でした。このような手法があるということもわかり、今後自身の家族も含めて活かすことのできる内容でした。ありがとうございました。

- 認知症であるかに関わらず一人の人として尊重することをいつでも忘れないようにしたいと思いました。ただ忙しいときはどうしても患者さんのペースに合わせるのが難しくも感じます。一生懸命なスタッフほど離職したり、心を病んでしまうのも見てきました。患者さんもスタッフも大切にできるようもっとマンパワーが増え、業務にも心にもゆとりをもって接することができると思います。

- 老人看護に係った仕事に復職したいと考えているので、本日の講義は実践に役立つとても有意義なものでした。ユマニチュードのイヴジネストさんの患者さんとの関りで、患者さんの表情が明らかに変化した様子にとっても感動しました。先生の「ケア環境は変えられる！私たちも環境の一部！」という言葉大切にしたいと思いました。本当にありがとうございました。

- 認知症についての専門的な講義を受けるのは初めてに近かったのでとても参考になりました。ユマニチュードのかかわり方は感動しました。実際の業務の中で、患者様一人一人に全てあの映像のように接する時間があるのかどうか考えましたが、もし、そのような状況になった時は心がけたいと思いました。認知症患者さんへのかかわり方や声掛けなどが、現在不登校の息子へのかかわり方にも通ずる点があると感じました。

- 認知症 WG として取り組んでいるけど理想通りできない。正直苦しくなる時がある。今回学んだこと一つでも患者さんに対し実践できるようにしていきたい。

ユマニチュードとは「人間らしさを取り戻す」という意味を持つフランス語の造語。

認知症の人の思い、声のかけ方、視線の配り方、声のトーン、話の内容を意識しながら動画を視聴し、魔法のようなケア・コミュニケーション技法に研修生それぞれ思うところがあったようでした。